

岩手県との包括連携協定の一環として、 明治安田生命 Jリーグウォーキングにて「虫ケアステーション」を出展

6月30日（日）、明治安田生命が主催するJリーグウォーキング in 小岩井農場まきば園にて虫ケアステーションを出展しました。岩手県は明治安田生命と包括連携協定を締結しており、県と両社の連携を通じて、昨年にかけての出展となりました。

2019年から毎年開催されている当イベントに今年は約300人が参加し、いわてグルージャ盛岡の選手と一緒に園内3キロほどのコースを歩きました。当社は安全・安心なウォーキングの実施に向けて虫ケアステーションを出展し、虫媒介感染症に関する害虫の標本や被害症例を展示し、害虫のリスクを紹介するとともに、虫よけ剤による予防と効果的な使い方について説明しました。



スタート地点では、実際に虫よけ剤を塗布し、正しい使い方を説明



約300人が「みんなの健活体操」を実施し、グループごとにウォーキングを楽しみました